



TAKATSU NETWORK

医療法人 社団 亮正会 総合高津中央病院  
川崎市高津区溝口1-16-7 TEL 044-822-6121  
http://www.takatsuhosp.or.jp

新

# 高津中央病院だより

(財)日本医療機能評価機構認定病院

2016年◆秋号(2016年10月発行)

Vol.55

## 季節の写真館 “秋の二ヶ領用水”

(二ヶ領用水の大石橋付近の写真)



### 総合高津中央病院 理念・基本方針

#### 理念

医療を通じて地域社会に貢献します

#### 基本方針

1. 地域の皆様に愛される病院、親切、迅速、奉仕について最善の努力をします
1. たゆみない研鑽と医道の高揚に努め、安全で質の高い開かれた医療の提供をめざします
1. 地域の救急医療に全力で対応します
1. 保健、福祉の全面的な支援を行います

## 巻頭言

### 神奈川県災害協力病院に指定されました

病院長 小林 進



高津中央病院は平成26年9月に1号館（入院棟）の耐震補強工事が竣工し、平成28年3月31日から神奈川県災害協力病院に指定されました。災害協力病院は災害発生時には災害拠点病院と連携し、傷病者等の受け入れや治療を行います。今後は災害拠点病院と協力して定期的な訓練を行い、災害時に最善の医療ができるよう準備をしたいと思います。被災地において最大多数の傷病者に最善の医療を実施するためにはトリアージと言う患者の篩い分けを行う必要があります。

被災地内の医療機関では外来患者の受付時点でトリアージを行います。医療機関でのトリアージ場所（トリアージポスト）は、悪天候、夜間でない限り、病院内ではなく施設外が望ましく、通常、玄関前の空地地区や駐車場などが良いと言われています。当院周囲の道路は狭く、空き地がないため今後早急にトリアージポストをどこにするか検討したいと思います。

ます。また、トリアージを行うときの留意点として、より多くの被災者の救命を目指した場合、

- 対応できる医療資源を正しく評価する。
- 一人の負傷者に多くの時間を費やさない。
- 「最も近い」「最も騒がしい」負傷者から、トリアージを開始しない。
- 心停止例の蘇生は時間をかけず手早く断念する。
- 軽症者に対する手厚い治療は控える。

等、大規模災害発生時の医療は一人の患者さんに最良の結果を生み出す日常行われている医療とは全く留意点が異なる医療を行うことを御理解頂かなければなりません。

当院では現在、当地域の救急医療に積極的に取り組んでおりますが、今後は大規模災害発生時の災害医療にも常日頃訓練を行い、取り組むつもりでございますのでどうぞ宜しくご協力お願い申し上げます。



名前 <sup>さとう</sup> <sup>ようこ</sup> 佐藤 庸子  
 卒業大学 東京女子医科大学  
 卒業年度 平成10年  
 専門領域 呼吸器内科

資格 日本呼吸器学会専門医／日本呼吸器内視鏡学会専門医／日本集中治療医学会専門医／日本呼吸療法医学会専門医  
 自己紹介 呼吸、肺に関する病気を幅広く診ていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

## 地域医療連携懇談会開催のお知らせ

開催日時：10月28日（金）  
 19：30～講演会 20：00～懇談会  
 開催場所：ホテルKSP

※写真は昨年の開催模様です。



加藤理事長の挨拶

皆様のご支援の下、当懇談会も5回目を開催する運びとなりました。

今年度も近隣地域で開業なさっている先生方を中心にご案内しております。多くの先生方にお越しいただきたいと考えております。

今回も講演会と懇談会の二本立てですが、内科部長高橋より「2型糖尿病の薬物治療」と題して昨今増加傾向にある糖尿病患者の治療方法についてご紹介する予定です。

当院では今回の演者である高橋を中心に、定期的に「糖尿病教室」を開催しており、運動療法の実演や食事療法ワンコインランチが好評です。生活習慣の変化により糖尿病の患者数は年々増加し、予備軍も含めると316万人を超えている状況です。合併症も多い疾患であり、放っておくと糖尿病足壊疽や動脈硬化からくる循環器疾患など命に関わる重大な病気につながってしまいます。そういったことを防ぐためには、診療科問わず複数の医療機関が連携して経過を診ていく必要があります。糖尿病患者の管理において地域連携に力を入れている地域も増えてきているようです。



座長：小林院長、講演：大道医師

是非とも足をお運びいただき、今後の糖尿病治療における地域連携について皆さんと一緒に考える機会となればと考えております。

会の詳細につきましてはすでに9月中にご案内しておりましたが、職員を含めて100名以上での開催を見込んでおります。（昨年実績110名）

当日の飛び入り参加も大歓迎です！

職員一同、皆さまとお会いできることを心待ちにしております。

↓懇談会の様子



中村副院長の挨拶



## \* 糖尿病教室開催のお知らせ \*

平成28年度第2回の糖尿病教室が9月3日より4回シリーズで開催されました。今回の食事療法ワンコインランチは“ひと工夫のボリューム”をテーマにお料理が用意されました。今回もたくさんの方が参加して下さいました。



そして11月には、第3回糖尿病教室が11月5日から4回シリーズで開催されます。糖尿病の最新情報から運動療法の実演と盛りだくさんの内容で準備しております。血糖値の気になる方、療養中の方、是非一度糖尿病教室へいらっしやいませんか。私たち糖尿病教室開催チームがサポートいたします。

11月5日・12日・19日・26日  
14:00~15:30

糖尿病の診断と治療  
糖尿病の検査 日常生活について  
お薬について 運動療法  
食事療法について



TEL044-822-6133 栄養部 (安田・河野)

## 救命救急研修を 実施しました!

教育研修委員会主催 看護部 澤田石・鈴木

当院には  
AED (自動  
体外式除細  
動器)が1号



館・2号館の各フロアに設置されています。今年度も病院職員としていつでも、誰でもがAEDを使用した救命ができるよう基本的な「一次救命処置」「AEDの使用法」の研修会を実施しました。

当院には、訓練用のセットが2台あり訓練用のAEDを使用しながら実践的な訓練を毎回行っています。救命処置が必要な時はいつ



起こるかわかりません。今年度も希望者とともに講義・実践を行いますスキルアップしました。

## 乳がん検診受けていますか?

画像診断部 主任放射線技師 山口佳代子

女性がかかりやすいがんの第1位は乳がんです。今、日本女性の12人に1人が乳がんにかかるといわれています。「乳がんはまだ私には関係ない」と思っていますか? 乳がんにかかる人は30~40歳代にかけて急上昇し、40歳代後半で第1のピークをむかえ、60歳代半ばで第2のピークをむかえます。その後はゆるやかに減ってきます。

乳がんを早期に見つけて適切に治療すれば9割以上のケースで治癒を期待できます。そのためにも大切なのは自己触診と検診です。厚生労働省では40歳以上の女性に対して2年に1回のマンモグラフィを推奨しています。私たち診療放射線技師は、乳がん検診ではマンモグラフィを担当しています。(当院では現在、検診マンモグラフィ撮影認定を持った4人の女性技師が担当しています)

「マンモグラフィって一体どんな検査?」  
「マンモグラフィは痛って聞くけど本当?」  
「小さい乳房だけど検査できるの?」  
「被ばくは大丈夫?」

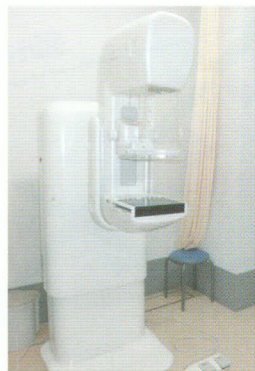
など不安に思っている人もいるかもしれません…

マンモグラフィは、乳がんの初期症状のひとつである微細な石灰化やセルフではわかりにくい小さなしこりなどが発見できる、乳房専用のX線装置のことで。

プラスチックの板と撮影台に乳房をはさみ、薄く引き伸ばした状態で上下方向と斜め方向から左右2枚ずつ撮影します。気になる事がある場合は遠慮なくお問い合わせください。

乳がん検診を受けた方たちが“次も受けよう!”と  
思っていただけの検査をめざしています。

乳がんになった人の割合(全国・女性)



山口主任技師 富樫技師  
横山技師 大川原技師

## 無理なく上手に血糖値とお付き合いできるようサポート

内分泌代謝内科 部長 高橋 敏浩



現在の日本では、食習慣の欧米化・運動不足などにより糖尿病と診断される方の数が増加の一途をたどっています。しかしながら、働き盛りの年齢層を中心に治療を受けていない方々が相当数おられるとの調査結果も報告されています。

一般に糖尿病は自覚症状に乏しい病気です。おなか痛、あるいは胸が苦しいといった自覚症状があれば、人々は病院を受診します。しかし「血糖値が高い」だけで、深刻な症状を伴わなければ病院を受診する必要がないと感じてしまうのも無理はありません。これが未治療の糖尿病患者さんが減らない大きな原因と思われる。

日本人の糖尿病患者さんの約9割以上が2型糖尿病とされ、これがいわゆる生活習慣病にあたる糖尿病です。このタイプは病初期においてはほとんど無症状です。しかし5年、10年と経過するうちに眼・腎臓・神経などに合併症を引き起こし、生活の質を損ねてしまいます。適切な治療を早期から開始して合併症を予防する・あるいは進行を阻止する。これが糖尿病治療の大きな目的です。そのため、血糖値の異常を指摘された方々はできる

だけ早めに受診されるようお勧めします。

では受診された際にどのように治療が進められるのでしょうか。2型糖尿病治療は食事・運動・薬物療法の3本柱で成り立っています。意外に思われるかもしれませんが、最初の受診で直ちにお薬による治療が開始されることはまずありません。生活習慣の見直しが治療の第一歩となります。特に食事療法に関しては実践していただきたい内容が患者さんによって異なるため、当院の管理栄養士による栄養相談を受けていただくことをお勧めしています。生活習慣の見直しだけで、血糖値が徐々に下がる患者さんも多くいらっしゃいます。食事・運動による治療を2～3ヶ月頑張ってもらっても血糖値が下がりにくい患者さんに対して、お薬による治療が開始されます。現在では糖尿病治療薬も長足の進歩を遂げており、個々の患者さんの病状により適したお薬を処方することが可能となっています。その際患者さんのお考えも尊重して使用する薬剤を決めるようにしています。加えて、先述した合併症に対する治療も大切です。眼科あるいは腎臓専門の医師と連携を取り合って治療を継続できることが、総合病院である当院の強みです。

糖尿病は慢性疾患で、生涯にわたって治療が必要です。無理なく上手に血糖値とお付き合いできるよう、サポートさせていただきます。



### 個人情報保護方針

情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。総合高津中央病院では、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

#### ① 個人情報の収集・利用・提供

個人情報の保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

#### ② 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

#### ③ 個人情報に関する法令・規範の遵守

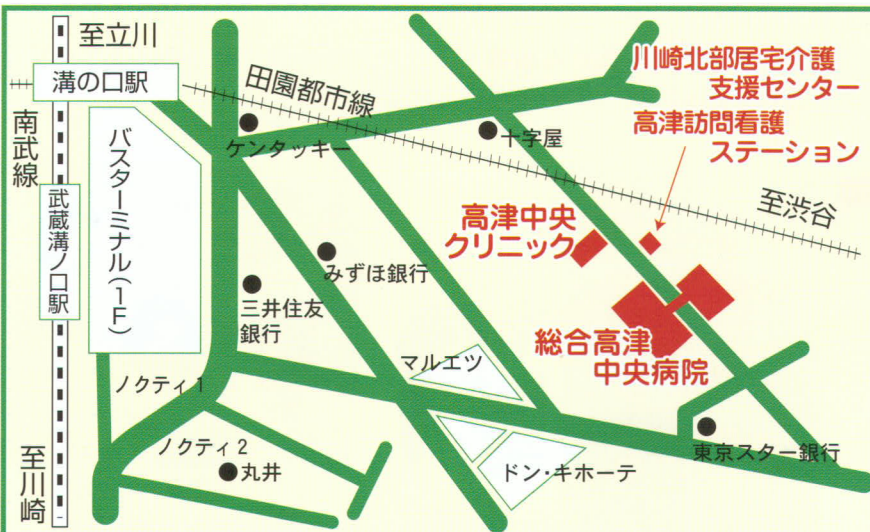
個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

#### ④ 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

#### ⑤ 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。



#### ▶ 総合高津中央病院

川崎市高津区溝口1-16-7  
TEL (044) 822-6121 (代)  
<http://www.takatsuhosp.or.jp>

#### ▶ 高津中央クリニック (健診)

川崎市高津区溝口1-16-3  
TEL (044) 822-1278 (代)  
<http://www.takatsuhosp.or.jp/clinic/>

#### ▶ 川崎北部居宅介護支援センター

川崎市高津区溝口1-17-5  
TEL (044) 822-6159 (代)

#### ▶ 高津訪問看護ステーション

川崎市高津区溝口1-17-1  
TEL (044) 822-1287 (代)